

多言語対応整理表

R1.7.7

○要求水準に含む

－:対応無し

要求水準「VI運営業務」 の記載場所	多言語対応の区分		最低限必要なもの	(参考) 現行の県立博物館		
(2)学芸業務(展示) ①常設展示	常設展	広報	チラシ、ポスター	/	－	
			ホームページ	○	とりねっとと同様、英、中、台、韓、露 ※Google翻訳機能等の活用を想定	とりねっとで多言語対応
		展示	挨拶文	○	英	－
			章解説	/		－
			キャプション	/	※作品名、作者、制作年等、県が英文翻訳する。	－
			解説文	○	英(各展示の主な作品5点程度)	－
			出品目録	/	※作品名、作者、制作年等、県が英文翻訳する。	－
			展示ガイド	/		－
			音声ガイド	○	英(各展示の主な作品5点程度)	－
		電子ディスプレイ	/		－	
	図録※	挨拶文	/		※常設展ごとの図録無し	
		目録	/			
		サマリー	/			
		全文	/			
	※常設展示の図録:まとまった所蔵作品の図録やテーマ性の強い常設展示の図録等を必要に応じ製作する。(県による直営部分)					
要求水準「VI運営業務」 の記載場所	多言語対応の区分		最低限必要なもの	(参考) 現行の県立博物館		
(2)学芸業務(展示) ②企画展示	広報	チラシ、ポスター	/	－		
		ホームページ	○	とりねっとと同様、英、中、台、韓、露 ※Google翻訳機能等の活用を想定	－	
	展示	挨拶文	○	英		
		章解説	/			
		キャプション	/	※作品名、作者、制作年等、県が英文翻訳する。	企画展によって、英文	
		解説文	○	英	－	
		出品目録	/	※作品名、作者、制作年等、県が英文翻訳する。	－	
		展示ガイド	/		－	
		音声ガイド	○	英(各展示の主な作品30点程度)	－	
	電子ディスプレイ	/		－		
	図録	挨拶文	○	英	英文あり	
		目録	○	英	英文あり	
		サマリー	○	英	英文あり	
		全文	/		－	

要求水準「VI運營業務」 の記載場所	多言語対応の区分		最低限必要なもの	(参考) 現行の県立博物館			
(2)学芸業務(展示) ②企画展示	S P C 主 体 企 画 展	広報	チラシ、ポスター	/	/		
			ホームページ	○	とりねっとと同様、英、中、台、韓、露 ※Google翻訳機能等の活用を想定		
		展示	挨拶文	○	英	/	
			章解説	/	/	/	
			キャプション	○	英	/	
			解説文	○	英	/	
			出品目録	○	英	/	
			展示ガイド	/	/	/	
			音声ガイド	○	英(各展示の主な作品)	/	
			電子ディスプレイ	/	/	/	
		図録	挨拶文	○	英	/	
			目録	○	英	/	
			サマリー	○	英	/	
			全文	/	/	/	
		(5)運営事務業務 ③利用者対応	来 館 者 サ ー ビ ス	諸室案内、誘導の表示 (トイレやエレベーターの場所、立入禁止場所、非常ボタン等)	○	英、中、韓	受付横の部屋名のみ英語表記
				トイレの使い方	○	英、中、韓	—
傘立て、ロッカーの使い方等	○			英、中、韓	—		
鑑賞マナー、注意事項(筆記用具、飲み物、写真撮影等)	○			英、中、韓	—		
受付(総合案内・チケットカウンター)	○			英、中、韓 ※タブレットの翻訳アプリ等の活用を想定	タブレットの翻訳アプリで対応		
「施設案内」パンフ	○			英、中、台、韓、露	英語・中国語・台湾語・韓国語・ロシア語版あり		
(6)集客促進業務 ①広報	広 報	ホームページ	○	とりねっと(鳥取県公式ホームページ)と同様、英、中、台、韓、露 ※Google翻訳機能等の活用を想定	とりねっとで多言語対応		
		年間スケジュール案内パンフ	/	/	—		
		ワークショップ等の案内チラシ	/	/	—		
		普及広報紙「博物館(美術館)ニュース」	/	/	—		
		国外のメディア、ネットワークへの発信	/	※県(観光戦略課等)と連携して主にアジア圏へ周知を想定	—		
		国外の美術・観光・地域情報媒体への広告掲出	/	※県(観光戦略課等)と連携して主にアジア圏へ周知を想定	—		
(1)学芸業務(収蔵) ①収集	そ の 他	収蔵作品データベースのHP公開	○	※Google翻訳機能等の活用を想定	—		
		(3)学芸業務(館内外での教育普及) ②教育普及の情報発信	普及広報誌「美術館ニュース(仮)」	/	/	—	
研究紀要		/	※サマリーの英文は、執筆者本人とする。	—			
(5)運営事務業務 ①刊行物		年報	/	/	—		